

高校地理プリント（過去問類似）

資源と産業 No.10

名前

得点

/10

問1 北海道に位置する港湾のうち、背後に広大な平坦地を持ち、札幌大都市圏に近い利点を活かして、国内向けのフェリーや内航船による国内移出入が貨物取扱量の大半を占める、世界初の本格的な人工の掘込港湾として建設された港はどこか。 (2022年 全国公立入試 類似)

1. 苫小牧港 2. 釧路港 3. 小樽港 4. 函館港

問2 航空輸送において、アメリカ合衆国や中国、日本などの国々では国内線の旅客輸送量が非常に大きいのに対し、ある国では、首都の空港が東南アジアのハブ空港として機能していることなどから、国内線に比べて国際線の旅客・貨物輸送量が圧倒的に大きい。この特徴に該当する国はどこか。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. ブルネイ 2. ビルマ 3. ラオス 4. タイ

問3 日本の温州ミカンをはじめとする柑橘類の栽培面積は、1970年代以降、食生活の変化や貿易の自由化に伴い減少傾向にある。特に、1991年に輸入が完全に自由化され、国内の果樹農業に大きな影響を与えた柑橘類の名称を答えよ。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. マンゴー 2. パパイア 3. チェリー 4. オレンジ

問4 大都市圏において、都心部の渋滞緩和や環境改善を目的として、都市の外縁部を結ぶ高速道路が整備される。この整備によって、都心部に用事がないにもかかわらず、都心部を通り抜けるためだけに流入していた自動車の交通を何と呼ぶか。その流入を抑制することが、環状道路整備の主なねらいの一つである。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. 交通公害 2. 交通渋滞 3. 違法駐車 4. 通過交通

問5 豊富な鉱物資源を有しながらも、国内の政情不安や紛争が続いており、スマートフォンなどの電子機器に不可欠なレアメタルである tantalum の採掘・密輸が武装集団の資金源（紛争鉱物）となっている、赤道付近に位置するアフリカ中部の国はどこか。 (2022年 全国公立入試 類似)

1. チュニジア共和国 2. ジンバブエ共和国 3. カメルーン共和国 4. コンゴ民主共和国

問6 1989年にオーストラリアの提唱によって設立され、日本や中国、さらには太平洋を挟んだアメリカ合衆国なども加盟し、域内の持続可能な成長と緊密な経済協力を目指して活動している経済協力枠組みの名称を何というか。 (2014年 全国公立入試 類似)

1. アジア太平洋経済協力会議 2. 東南アジア諸国連合 3. 西アフリカ諸国経済共同体 4. 南アジア地域協力連合

問7 ヨーロッパ有数の農業国であり、EU最大の農業生産を誇る。主要穀物のうち、小麦やトウモロコシの自給率は150%を超える輸出大国である一方、気候条件などの理由から米の自給率は極めて低い国として、最も適当な国名を答えよ。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. フランス 2. イタリア 3. イギリス 4. スペイン

問8 日本がインドネシアから輸入する主要な鉱物性燃料のうち、原油と並んで輸入額の上位を占め、環境負荷が比較的低いエネルギー資源として火力発電などに広く用いられている、気体を冷却して液化した資源は何か。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 液化天然ガス 2. 鉄鉱石 3. 液化石油ガス 4. 原油

問9 南米西岸に位置するある国は、環太平洋火山帯に属する急峻な山脈を抱え、世界有数の銅の生産・輸出国として知られる。1980年代半ばには西ヨーロッパや北アメリカが主要な輸出相手国であったが、近年は東アジアへの輸出割合が大幅に上昇している。輸出総額に占める銅産物の割合が非常に高いこの国はどこか。 (2022年 全国公立入試 類似)

1. ブラジル 2. ボリビア 3. チリ 4. ペルー

問10 モータリゼーションが進展した地方都市の郊外において、地価の安さを活かして広い敷地を確保し、平屋などの低層建築に広大な無料駐車場を併設して幹線道路沿いに展開する商業施設の形態を何というか。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. ショッピングセンター 2. アウトレットモール 3. パワーセンター 4. ロードサイド店舗

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 1 苫小牧港	勇払平野の砂浜海岸を人工的に掘り込んで造られた世界初の本格的な掘込港湾である。背後に広大な工業用地を確保でき、札幌大都市圏に近いことから、国内向けのフェリーや内航船による国内移出入が貨物取扱量の大半を占める特徴がある。一方、天然の良港である室蘭港は、鉄鋼業などの重化学工業を背景に海外貿易の割合が比較的高い。
問2	答え 4 タイ	東南アジアのハブ空港（スワンナプーム国際空港など）を擁するタイは、国際線の旅客・貨物輸送量が国内線に比べて非常に大きい。これに対し、アメリカ合衆国や中国、日本などは国土の広さや人口規模、国内都市間の移動需要から、国内線の旅客輸送量が非常に大きいという特徴を持つ。
問3	答え 4 オレンジ	日本の温州ミカン栽培面積は、1970年代以降、消費の多様化や外国産果実の輸入自由化などの影響を受けて減少傾向にある。特に1991年のオレンジの輸入自由化は、国内の柑橘類農家に大きな影響を与え、産地では高糖度な品種への更新やブランド化などの対応を迫られることとなった。
問4	答え 4 通過交通	大都市圏の都心部では、目的地が都心ではないにもかかわらず、道路網の構造上、都心部を通り抜けざるを得ない自動車（通過交通）が渋滞の大きな原因となっていた。都市の外縁部を環状に結ぶ高速道路を整備することで、これらの交通を都心に入り込ませずに迂回させることが可能となり、都心部の渋滞緩和や排気ガスによる環境悪化の防止に効果を発揮する。
問5	答え 4 コンゴ民主共和国	コンゴ民主共和国は、タンタルやコバルトなどの豊富なレアメタル資源を有している。しかし、東部地域を中心とする長年の内戦や政情不安において、これらの鉱物資源の採掘・密輸が武装集団の重要な資金源（紛争鉱物）となっており、人権侵害や紛争の長期化を招く要因として国際的な課題となっている。
問6	答え 1 アジア太平洋経済協力会議	1989年にオーストラリアのキャンベラで第1回閣僚会議が開催されて発足した。アジア太平洋地域の持続可能な成長と繁栄を目的としており、日本、アメリカ合衆国、中国、オーストラリアなど、太平洋を取り囲む多様な国・地域が加盟している。EUのような超国家的な統合ではなく、非拘束で緩やかな政府間の協力枠組みである点が特徴である。
問7	答え 1 フランス	ヨーロッパ最大の農業国であり、広大な平原と温暖な気候を活かして小麦やトウモロコシの大規模な栽培が行われている。これらの穀物の自給率は150%を超え、世界有数の輸出国となっている。一方で、米の栽培は南部のローヌ川デルタ（カマルグ地方）などに限られており、自給率は極めて低い。
問8	答え 1 液化天然ガス	インドネシアは日本にとって重要なエネルギー資源の供給国であり、原油やこの資源を多く輸出している。この資源は燃焼時の二酸化炭素排出量が化石燃料の中で比較的少なく、クリーンなエネルギーとして日本の発電や都市ガスに不可欠な存在となっている。
問9	答え 3 チリ	チリはアンデス山脈の豊富な鉱物資源を背景に、世界最大の銅生産国として知られ、輸出に占める鉱産物の割合が非常に高い。貿易相手国としては、かつての西ヨーロッパや北アメリカ中心から、急速な経済成長を遂げた東アジア（特に中国）へとシフトしている。
問10	答え 4 ロードサイド店舗	自動車の利用を前提とした商業施設であり、地価が比較的安価な郊外の幹線道路（バイパス）沿いに立地する。広い敷地を確保して平屋などの低層店舗とし、店舗面積以上の広大な無料駐車場を併設することが特徴である。